

全国子ども神楽サミット IN 島根

8月18日(土)から8月19日(日)に全国子ども神楽(かぐら)サミットが島根県の浜田市で開催されました。

曾爾中学校からは「ふるさと芸能」のメンバー10人が参加しました。前日17日(金)の朝6時にバスで曾爾を出発し、13時30分に会場となる石央(せきおう)文化ホールに着き、リハーサルのために中に入りました。会場は奈良文化会館と同じくらいとても広く、舞台も大きくてビックリしたそうです。

島根県立大学学生会館での歓迎交流会では曾爾中を代表して、松井さんがスピーチをしました。それから地元・島根の代表が「八岐大蛇(ヤマタノオロチ)」を披露してくれました。

2日目は朝から神楽工房の見学に行きました。工房内には1着50万円もする衣装があって、それを何人もの人が手作業で作っていました。

もらったTシャツを着て
～神楽工房にて～



神前の舞

本番は7番目の登場で「神前(しんぜん)の舞」「剣(けん)の払い」「参神楽(さんかぐら)」「合同荒舞(あらまい)」の4演目を披露しました。発表前はいろいろ心配したけどちゃんと練習の成果を出そう!と話合っ出て場したそうです。曾爾中学校は獅子舞を披露しましたが、ほかのグループはまた全然違うものが多かったそうです。

～振り返って～

夏休みでも練習が少なかったのが心配だったけど、本番では失敗なく、うまくいったのでうれしかった。また機会があればでてみたいです。

いい経験をさせていただきました。

(部長 松井 優さんの感想より)

ふるさと発信情報局員：大西 智也